

新型コロナウイルス感染症による

風評被害を出さないで

私たちが克服すべき相手はウイルスです。

人と人との信頼関係や社会のつながりを大切にし、差別のない社会をめざそう。

感染者を非難しない

感染は誰にでも起こる可能性があり、感染者は非難される対象ではなく、守られるべき存在です。

「もし、自分や自分の大切な人が感染したら・・・」と考えたときに、他の人からされたら嫌だと思うことは自分もしないという気持ちを常に持ち続けよう。

感染者やその家族を非難しない

感染者はもちろん感染者の家族などへの差別的言動や誹謗中傷は、対象となった人の心を深く傷つけます。差別になります。

また、感染の表面化を遅らせ、感染拡大防止の妨げにもなりかねません。

風評被害を防ごう

感染者だという噂を流され、本人のみならず、家族までもが差別被害に合う場合があります。

噂やデマなどの不確かな情報や誤った情報をむやみやたらに拡散しないようにしましょう。

私たちの健康と生活を守ってくれる人たちに感謝の気持ちを

ウイルスと戦いながら、私たちの命と健康を守る医療従事者、福祉施設で働く職員、物流・販売に携わる人など、社会を支えるすべての人たちに感謝と思いやりの気持ちで接しましょう。

また、様々な理由で広範囲の移動を余儀なくされている人がいます。府外ナンバー車や遠方からの来訪者に対する心ない言動や差別的な態度は慎もう。

偏見や差別に当たる事例

子どもに対するいじめ、
保育園への登園拒否



SNSでの心ない
書き込み



感染した人の住まいや
勤め先の詮索

医療従事者の入店拒否や
タクシー乗車拒否



家族に対する
出勤拒否



偏見や差別、いじめは絶対にやめましょう。